

みんなで考えよう老人医療費

平成13年度の町の
老人医療費の総額は
10億8千万円

平成13年3月末現在の老人医療受給者数は1,360人で、町総人口の約29%を占めています。

医療費を大切に!!

これからも本町は少子高齢化の進行に伴い、老人医療費が確実に増加することが予測されます。

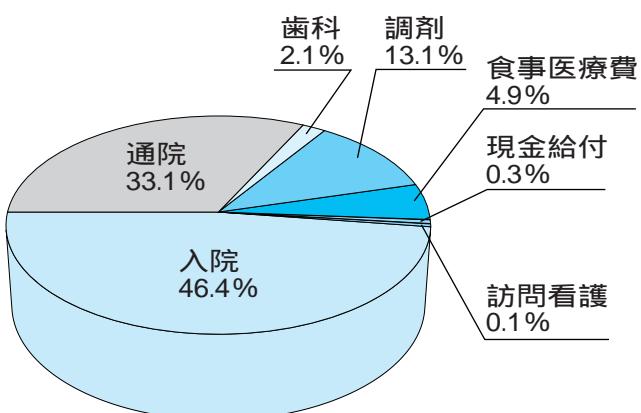
このような状況を踏まえて医療費を正しく理解し使いましょう。

下の表のとおり本町の老人医療費の割合は依然として高いことが分かります。

5カ町及び県平均 (別表1)

	1人当医療費	1日当診療費
薩摩町	800,496円	11,921円
宮之城町	815,103円	9,702円
祁答院町	692,522円	9,939円
鶴田町	822,524円	10,228円
入来町	753,245円	10,009円
県全体	831,434円	10,304円

平成13年度本町老人医療費の使用状況



本町の医療費支給額 (別表2)

	科目	件 数	総医療費(円)
現物給付	入院	1,268	505,658,720
	通院	17,150	360,940,160
	歯科	916	22,386,150
	調剤	9,618	142,361,950
	入院食事	1,213	53,491,330
	訪問看護	6	516,950
現金給付	計	30,171	1,085,355,260
	柔道整復	68	1,089,598
	補装具	54	2,229,947
	その他	5	0
	計	127	3,319,545

上手に医療を受けるには?

①重複受診をやめよう

医療機関（病院）が変わるとたびに検査や処理のやり直しになります。

④定期検診で早期発見、早期治療を

病気の発見が遅ければ、治療が難しくなり、医療費が高くなります。

②診療時間内に受診する

急病などの場合は別として、時間外は医療費の無駄になります。

⑤医師を信頼し、指示を守ろう

医師の指示をきちんと守ることが医療費の抑制につながります。

③むやみに薬を欲しがらない

必要以上にもらうことは、医療費の無駄になります。

⑥家庭医を持つ

病気や体質などを把握してくれているので、治療効果も高くなります。